

地域とともに学校教育を！

5月18日(水) 13時30分～14時30分

場所: 稲田中学校下きずな園

地域の指導者のもと、稲田小学校の児童が田植え体験を行います。



昨年度の田植えの様子



ほとんどの児童が初体験

稲田小学校では、学校運営協議会委員の潮田正明さんの指導のもと、毎年6年生が春に田植えをしています。

この行事は、40年前頃から行われている伝統行事です。

実際に田植えをすることで、収穫の喜びや生産者の努力などを体得することを目的に行っています。

新型コロナウイルス感染症の拡大前は、保護者とともに田植えを実施していましたが、現在は児童だけで行っています。

もち米を植え、秋に稲刈りを行い、収穫したもち米は3月に地元の和菓子店にお願いして赤飯にしてもらい、6年生の卒業のお祝いとして全校児童に渡しています。

令和2年度に発足したコミュニティスクール(学校運営協議会)を核に、地域とともにある学校を目指しています！